教育目標「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」
重点目標 「 豊かな心　確かな学力　健やかな身体 」

中朝日子（あさひこ）

佐渡市立畑野中学校　学校だより
令和５年12月22日（金）　第６号
著･編　校長　福井 晴人（TEL 66-2058）
http://hatano-js.sado.ed.jp/
E-mail hatano-js@sado.ed.jp

令和５年を振り返って

令和５年もあと１週間ほどで終わろうとしています。どんな１年間だったでしょうか。今回は、生徒を代表して次の３人に、今年の生徒会や畑野中学校について振り返ってもらいました。また、18 日には次年度の生徒会役員選挙も行われ、次年度の生徒会役員が決まりました。１月号には新役員の皆さんに抱負などを語ってもらおうと思います。併せてお読みください。

生徒会長　Ｉさん

私は、生徒会長として活動してきた一年間を振り返ってみて、「新しいことに取り組む」「積極的に行動」という二つのことが良くできたと思いました。

今年から生徒朝会の時間に、レクリエーションをしたり、体育祭の競技をアレンジしたりと新しいことに挑戦してみました。最初はどうなるかと不安でしたが、他の委員会や先生方にも手伝ってもらい、大成功に終えることができました。

そして、体育祭の時に積極的に行動している姿が多く見られました。例えば、三年生がいなくても一、二年生が協力して応援をしてくれました。その姿を見て、私たちが卒業しても畑中を任せられると感じました。

来年の一年生と新しいことに挑戦したり、今年の体育祭の様な姿を見せてあげたりしてほしいなと思いました。

生徒会副会長　Ｎさん

今年度の生徒会を振り返ると、とても良い雰囲気で活動できたと思います。みんなで協力して日常活動、行事で学校の先頭にたって頑張ってきました。また、今年度の行事などをとおして畑野中学校全校生徒が、より自主的に行動できるようになったと感じます。行事に全力で取り組む畑中生徒は、スローガンである「全身全霊」を体現できていたと思います。来年もその様な良いところを残しつつ課題を解決して、より良い畑野中をつくっていってほしいと思います。

最後に、この１年の生徒会活動を良いものにできたのはたくさんの人が支えてくださったおかげです。本当にありがとうございました。

応援団長　Ｈさん

今年度応援団長を務めました H です。今年度の応援団は三年生５名、二年生３名、一年生 11 名の総勢 19 名で選手激励会を行ってきました。約一年間、応援団長として仕事をして、今年の応援団はとても優秀な人が集まってくれたなと感じています。三年生は去年からの経験を活かして、手際よく仕事をしてくれました。二年生は、人数は少ないけれど、存在感のある応援をしてくれました。一年生は、元気と積極性で激励会を盛り上げてくれました。

最後にこの一年間の活動に関わってくれた皆さん、ありがとうございました。来年も、畑野中学校の応援団をよろしくお願いします。

中学生の「税についての作文」入賞おめでとうございます！

毎年、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会では、全国の中学生を対象に「税についての作文」を募集しています。畑野中からも次の２名の生徒が素晴らしい賞に入賞しましたので紹介します。全文を掲載しますので一読ください。

＜佐渡税務署長賞＞　「みんなが幸せに生きるため」　３年　Ｔさん

子供でも、お菓子やジュースを買う時には、消費税を払っている。私は、今まで当たり前に払ってきた、その税金の使い道なんて考えたこともなかった。ニュースを見ると「消費税が 10%に引き上げられて、高くて困る。」などと報道されていて、税金には少し悪いイメージを持っていた。だが、税についての作文を書くにあたって、「税金って何に使われているんだろう。」と疑問を持つようになった。

そこで、税金の使い道について調べてみると、ほとんどが私たちの健康や生活を守るための社会保障費に使われていると分かった。例えば、学校で使っている教科書が無償で配付されたり、健康診断や予防接種を受けたりするなど、身近なことも、税金によってまかなわれている。他にも、道路の整備やごみ処理、救急車の出動、年金、除雪など、様々な公共サービスのために税金は活用されている。

このようなことを知って、税金のおかげで私たちの生活は成り立っているのだなと思った。税金には少し悪いイメージを持っていたが、税金を払うことは、私たちが安心・安全に暮らすために不可欠だと思った。もし、税金がなかったら、町はごみだらけになってしまうし、具合が悪くなっても救急車を呼べないということが起こってしまう。それは、とても大変なことだ。

さらに調べてみると、デンマークは消費税が 25%だということを知った。日本は他の国々に比べると低い方だと知り、驚いた。デンマークでは、消費税が高い分、教育費は幼稚園から大学まで無料、医療費はどんなに高い治療費がかかっても全て無料だ。消費税が高いため、負担は大きいが、教育や医療などが充実しているという良い点がある。

今まで何気なく払ってきた消費税も、自分の身近なところで、様々なことに役立っていると分かった。今、当たり前にできていることも、消費税がなかったら、できないのだと痛感した。ニュースでは、税金が高くて困るなどという悪い点ではなく、税金を払うことで、私たちの暮らしは保障されているという良い情報を発信すれば良いと思う。そうすれば、税金がなかったら困るということが実感でき、税金を払うことは大切なことだと考える人が増えると思う。一人一人が税金の使い道や税金を払う意味などを正しく理解することも必要だ。

大人になったら、たくさんの種類の税金を払うことになる。なので、その時には、「みんなが幸せに生きるため。」と考えながら税金を納めたい。

＜全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞＞　「私たちの暮らしと税」　１年　Ｓさん

私たちの暮らしは税金によって支えられています。それはとても身近なところでも感じられます。調べてみると年金・医療などの社会保障、福祉や、水道・道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛などというものが税金によって運営されていると知りました。私が一番興味を持ったものは教育についてです。私があたりまえに通っていた学校には、たくさんの税金の支えがありました。それは、私たちが読んでいる教科書や教室にあるパソコン、体育用具や机、椅子などとさまざまなものに税金が使われていました。また、先生方の給料にも税金が使われていました。もし税金がなければ、これらすべてのものに多額のお金を支払うことになります。いま私たちがあたりまえに学校に行けているのは、税金があるおかげだと、私は思いました。

また、税金のおかげで運営されているものは、教育だけではありません。例えば道路です。なぜ道路なのかというと、この私たちがいつも歩いているきれいな道路は、税金がないと修理できないからです。いつも私たちがなにげなく歩いている道路、ここにも税金の力が働いていたのです。そして警察です。私も警察が税金で運営されているのは知っていましたが、そもそも警察がなければ犯罪も増えていくだろうし、私たちが暮らしづらくなっていってしまいます。警察以外にも消防やゴミ処理など、暮らしには必要なものがたくさんあるなと思いました。そして医療にも税金が使われています。かぜをひいたり、けがをしたりして病院で手当てをしてもらうとお金がかかりますが、かかった金額の一部には、税金が使われているのです。

これまでにたくさんの税金の使い道について調べてきましたが、税金はみんなが支えあって、よりよい社会を作っていくためのものだということが分かりました。私はいままで、百円のものを買うために百十円払わなければいけないのを不満に思うこともありましたが、税金のおかげでいまの暮らしができていると思うと不満はなくなってしまいました。税金があるから不満に思うのではなく、税金があるからいま私はこの暮らしができているのだと思えるようになりました。

２学期後半も生徒の素晴らしい活躍がありました。

【中学校税についての作文コンクール】
○佐渡税務署長賞　　３年　Ｔさん　「みんなが幸せに生きるため」
○全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞　１年　Ｓさん　「私たちの暮らしと税」

【下越地区中学新人バレーボールフェスティバル】
○　地域バレーボールクラブ　優勝　２年　Ｋさん、Ｈさん

【新潟県読書感想文コンクール新潟県審査】
○　優秀賞　３年　Ｔさん　「今やりたいことをやる」

【ＢＳＮ杯新潟県Ｕ14 下越地区予選会】
○　地域バスケットボールクラブ女子　３位　１年　Ｅさん、Ｎさん

【人権作文コンクール】
○　新潟県　優良賞　３年　Ｎさん
　　佐渡市　奨励賞　３年　Ｋさん

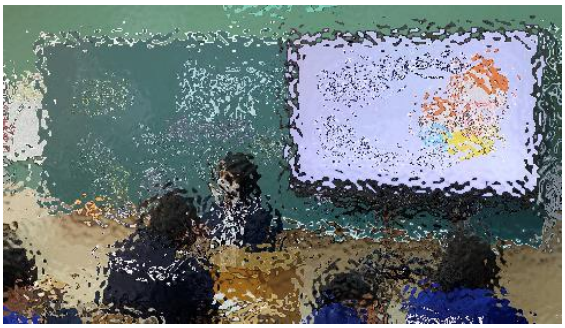
【歯・口の健康の関する図画・ポスターコンクール】
○　ポスターの部　銅賞（新潟県）優秀賞（佐渡市）　３年　Ｈさん

【11 月 7 日佐渡市音楽発表会】

佐渡テレビ 112ch で下記の日時で放送されます。ぜひ、ご覧ください。
日：１月１日(月)、５日(金)、９日(火)
　　13 日(土)、17 日(水)、21 日(日)
　　25 日(木)、29 日(月)
時間：①９時②13 時③17 時④22 時の４回

【12 月 5 日人権集会】

【12 月 6 日職場体験学習発表会】



【12 月 12～14 日学習発表会作品展示】

【12 月 18 日生徒会立会演説会】